

富士河口湖町立 教育センターだより

No.18



平成30年1月15日 文責 遠山 榮子

新年あけましておめでとうございます



新しい年が始まりました。学校では1年間のまとめとともに、進級進学に備える大切な3学期が始まります。子ども達それぞれには、これまでの自分の歩みを明るい未来へとつなぐため、毎日を真剣に、そして一生懸命過ごして欲しいと思います。

教育センターも学校やご家庭とともに、子ども達の頑張りを応援していきます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



1月7日(日) 成人者のつどい おめでとうございます

光陰矢の如し。小学校で行われる2分の1成人式から早10年。多感で人としての礎が築かれ、人生の道筋が明確になってくる10年という時の重みを考えると、この日を迎えられた皆様に、心の底から「おめでとう」と、お祝いの言葉を贈りたいと思います。

本年度実施した町内「子どもの生活・意識アンケート」の「将来の夢を持っているか」に対する中学校2年生の回答は、右表のとおりでした。また、「大人になったころの世の中はどのようになっていると思うか」に対して、「よくなっている」と回答した割合は、前年度の中学生よりポイントがアップし、43.4%でした。この中学生が成人式を迎える6年後、確かな夢を持ち、前向きに歩むことができ、今まで以上に自信をもって「～がよくなっている」と、胸を張って誇れる富士河口湖町であるため、新成人・地域がともに手を携えていきたいものです。

はっきりとした夢がある	40.8%
探している	52.8%
考えたことはない	6.0%



小学校2020年 「プログラミング」必修化

***** 南都留地域教育フォーラム 第4分科会にて*****

昨年11月2日(木)に行われた教育フォーラムにおいて、「地域の輪をつくるプログラミング教育の可能性」という発表がありました。連携の実施に当たって、新学習指導要領における小学校のプログラミング必修化では、プログラムコードの記述方法を覚えることが目的ではなく、コンピュータ(機械等)に「意図した処理ができるよう指示することができる」ことを体験させながら、「プログラミング的思考」等を育成することに重きを置いているという内容でした。「AI」「IoT」「自動運転」という言葉が、本当に、教育現場のそこに来ていることを実感しました。

町の図書館より

プログラミング関係本のご案内

「ルビィのぼうけん」など、プログラミングに関わる図書も少しずつそろえています。お探しの本がない場合には、他の図書館より取り寄せもできます。声をかけてください。

